

# 別府市公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和2年3月19日（15：00～16：00）

場 所：市役所1階レセプションホール

## ◆意見要旨

### 開会

事務局：21名の出席により、規約を満たしている。

### 1 報告

#### (1) 平成31年度生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持改善計画）一次評価に係る書面会議結果について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）特になし

#### (2) みんなのタクシー利用状況について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）

会 長：2月の利用者が少ないが新型コロナウイルスの影響か。

事務局：新型コロナウイルスの影響もあると思うが実際は調査してみないとわからない。

一部のヘビーユーザーの利用がなくなった影響もある。

4月以降にアンケートや自治委員の聞き取りを行いたいと思っている。

#### (3) 別府市公共交通基礎調査について

（事務局説明）説明内容省略

（質議応答）

委員①：タクシーの出番を多く想定されているが、距離が長いときはデマンドタクシー、近距離は定額タクシーとの想定となっているが、定額運賃は定時運行なのか、通常のタクシーの配車のように電話やアプリでの配車なのかお聞きしたい。

事務局：対応策ということで、地域の特性があるので、地域の要望や特性に合った方法を取り入れていきたい。現時点でこれだというものではない。

委員②：みなたく等の事例が出ているが、事例の内容はどこか掲載されているか。

事務局：今回お配りした資料は概要版のため載せていないが、最終の報告書には載せる予定。

委員③：基準を定めているが、これからこの定義で進めて行くということで良いか。

事務局：他の自治体等の例を元に検討し、4パターン考え、その中でも最も厳しい定義とした。今後はこの定義で進めて行く。

委員④：大変細かい資料をいただき、良く研究しており感銘している。

事業者として利用者の利便性を尊重するため取り組んでいる。こういう形でタクシー、

バス小型モビリティなど事業者が一緒になってやっていけたら良いと思う。

## 2 その他

事務局：来年度実施予定の主な2事業について

①令和3年度を始期とする別府市地域公共交通網形成計画の策定について  
前回の策定時の反省点を踏まえ、策定段階から協議会あるいは分科会を設置し関係する多くの方の意見を取り込んでいきたい。

②AI活用型オンデマンドバス実証実験事業について  
福岡市のアイランドシティにてネクストモビリティ株式会社が行っているAI活用型オンデマンドバス「のるーと」をモデルシステムとして実証実験を実施。

### ※のるーとのシステム内容説明は省略

路線バスと違い不定時不定路線での運行であり、乗降場所が決められているのでドア・ツー・ドアの乗合タクシーとも違い、バスとタクシーの中間的な位置づけとして、路線バス等幹線交通の補完的な役割として期待が出来る。

公共交通基礎調査にて特定された公共交通不便地域の中から条件に合ったエリア、車種を考慮し実施予定。

この実証実験は地域交通の利便性向上を図るだけでなく、このシステムを応用したバスタクシーなど既存の交通システムとの融合、連携によるネットワークの構築も視野に入れて実施。

現在の社会背景を踏まえると、公共交通を交通事業者単独で維持することは困難であり、実証実験を通じ、利便性、事業性の双方を検証することにより将来を見据えた行政、交通事業者、地域住民など関係者が一体となり、地域の実情に応じた新たな技術、システムを活用した地域交通の維持・活性化を検証していきたい。

実証実験に当たっては、導入場所の特定段階から関係者の方々に御参画いただきたいと考えている。

### (質疑応答)

会 長：具体的にいつぐらいから実証実験を行いたいと思っているか。

事務局：地域にあった車両、乗降ポイントなど準備があるため、早くても10月くらいには始められたらと思っている。

委員⑤：アプリ登録者限定とあるが、市民限定で考えているのか。それともアプリを入れた人なら世界各国の人が使えるのか。

事務局：アプリを利用すれば誰でも利用できる。

委員⑥：事業者の選定というのは何の事業者の選定か。

事務局：選定の方法は決めていないが競争入札になるのかプロポーザルになるのか検討していきたい。実証実験は地域によって運行できる車両が変わってくる。実施する地域の特定から始まりその地域に合った車両の導入など考えていきたい。

委員①：タクシー業界の立場からすると非常に不安になる。コロナウイルスの影響で会社の存続と雇用の確保に一生懸命知恵を絞って対処している状況。

タクシー会社の体力的に持つのか、また収益が見込まれるのか。現時点でいうと不安でしょうがない。

今の状況を鑑みて優先順位をハッキリしてから腰を据えて取り組んでいただきたいというのが切実な願い。

会長:他の事業のスケジュール感というのもし様子を見ながらしっかりと落ち着いて考えて相談させていただきたい。

**閉会**